

## 問題【社会】

次の藤原〇〇を埋めましょう。

- 1 藤原〇〇 飛鳥時代 中大兄皇子と大化の改新を行った
- 2 藤原〇〇 平安時代 皇族以外の人臣として初の摂政に
- 3 藤原〇〇 平安時代 日本史上初の関白
- 4 藤原〇〇 平安時代 藤原氏全盛期を築いた
- 5 藤原〇〇 平安時代 平等院鳳凰堂をつくった
- 6 藤原〇〇 平安時代 奥州藤原氏を始めた人
- 7 藤原〇〇 鎌倉時代 新古今和歌集の撰者

## 豆知識 雑学コラム

### たくさんの「藤原」さん

さて、今回は「藤原」さんにスポットを当ててみましょう！今、全国に藤原さんは約30万人いると言われていています。名字の人数ランキングでも約50位だそうです。どうですか？身近に藤原さんはいいますか？日本の人口が約1億2600万人ですから、計算すると1000人に2人から3人は藤原さんがいるはずなんです。

そんな身近な(?)藤原さんですが、歴史の教科書でもちよくちよく見かけますね。ではそんな藤原氏を見ていきましょう。最初は「大化の改新」のときの藤原鎌足ですね。もともと中臣鎌足だったのですが、頑張ったお礼に天皇から「藤原」という名字をもらいました。

その後、平安時代には貴族として力をつけました。特に藤原道長は摂関政治の全盛期として有名ですね。「この世をばわが世とぞ思う望月のかけたることも無しと思へば」と詠んだのは1018年とされていますから、今から1000年前の人ですね。1000年前の月を見て、「俺に足りないものはない」と思っていたと思うと、面白いですね。ちなみに、藤原道長の日記である「御堂関白記」は国宝になっています。自分の書いた日記が、みんなに見られて国宝にまでなるなんて！もしかしたら、みなさんの日記も後世の歴史に載るかもしれませんね？藤原清衡は奥州藤原氏を始めた人です。のちに3代目藤原秀衡のときには、源義経が源頼朝の追手から逃れて来ました。また、藤原定家は、新古今和歌集の撰者として有名ですね。また、藤原定家は小倉百人一首の撰者としても有名です。ちゃんと自分の歌を百人一首にいれています。

## 【解答】

- |      |      |                 |   |
|------|------|-----------------|---|
| 藤原鎌足 | 飛鳥時代 | 中大兄皇子と大化の改新を行った | 1 |
| 藤原良房 | 平安時代 | 皇族以外の人臣として初の摂政に | 2 |
| 藤原基経 | 平安時代 | 日本史上初の関白        | 3 |
| 藤原道長 | 平安時代 | 藤原氏全盛期を築いた      | 4 |
| 藤原頼通 | 平安時代 | 平等院鳳凰堂をつくった     | 5 |
| 藤原清衡 | 平安時代 | 奥州藤原氏を始めた人      | 6 |
| 藤原定家 | 鎌倉時代 | 新古今和歌集の撰者       | 7 |